

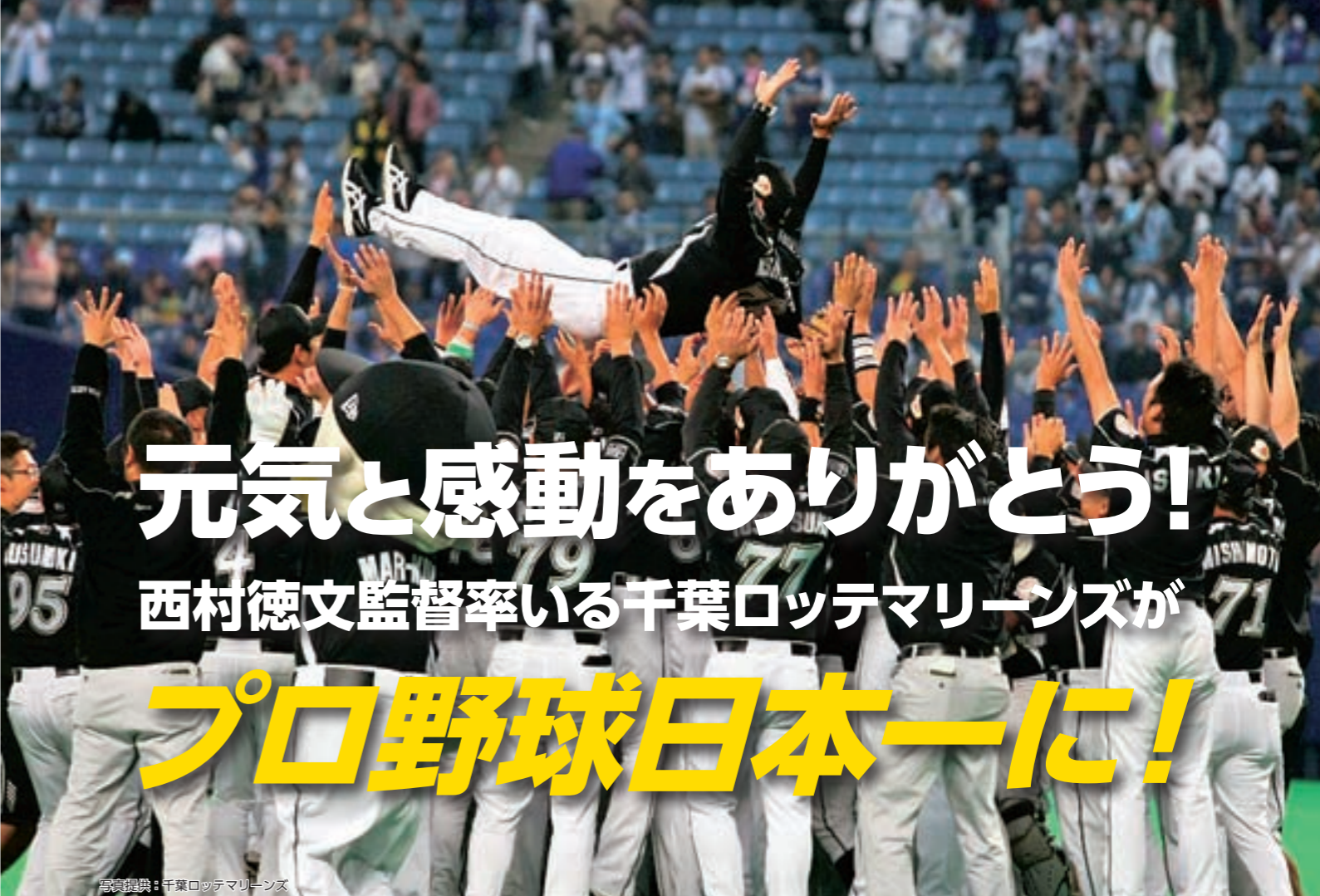


写真提供：千葉ロッテマリーンズ



写真提供：千葉ロッテマリーンズ

和



元気と感動をありがとう! 西村徳文監督率いる千葉ロッテマリーンズが プロ野球日本一に!

写真提供：千葉ロッテマリーンズ

シーズン応援ありがとうございました。厳しい時も辛い時もありませんでしたが、故郷の皆さんの温かい応援ほど心強いものはありませんでした。今年はいろいろと応援していただき、日本シリーズ前には急なお願いにも関わらず、グラウンドを貸していただき、皆さんの協力の下、選手たちが練習できたことを本当に感謝しています。この感謝の気持ちはグラウンドで結果を出して、返すしかないと思っていました。そういう意味では日本一という最高の結果を出すことができてホッとしております。

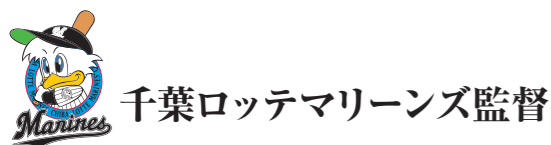
チームは和というスローガンの下、一年間、全員が気持ちを一つにして戦うことができました。嬉しいときはみんな嬉しむ、悔しいときはみんな悔しむ。その一つになった気持ちの球団よりも



強かったからこそ、この結果が生まれたのだと思います。

わたし個人的には尊敬をする伏見工業高校ラグビー総監督の山口良治監督から頂いた『信は力なり』という言葉をいつも胸に頂きながら試合に臨みました。選手を信じ、自分を信じ、これまでやってきた過程、練習を信じ采配を行ってきたつもりです。

日本一という結果は信じていた選手たちの力によるもので、選手たちにも本当に感謝をしています。来年は他球団のマークも厳しくなり、またさらに難しいシーズンとなると思います。故郷の皆さんの応援がわたしの一番の支えとなりますので、来年もまた応援の程、よろしくお願ひします。



西村徳文

***78 NORIFUMI NISHIMURA**
プロ野球千葉ロッテマリーンズ監督
1960年1月9日生。宮崎県串間市出身。串間市立有明小学校、福島中学校卒業後、宮崎県立福島高校2年生時に夏の甲子園大会出場。卒業後、鹿児島鉄道管理局へ。1981年ドラフト5位でロッテに入団。盗塁王4回(4年連続)、首位打者1回、ベストナイン2回、ゴールデンクラブ賞2回獲得。1997年現役を引退後、1998年千葉ロッテマリーンズのコーチ就任。2004年ヘッドコーチ、2009年10月監督に就任。

写真提供：千葉ロッテマリーンズ

■パ・リーグ ペナントレース成績

チーム	勝数	敗数	分数	勝率	差
1 ソフトバンク	76	63	5	.547	優勝
2 西武	78	65	1	.545	-
3 ロッテ	75	67	2	.528	2.5
4 日本ハム	74	67	3	.525	0.5
5 オリックス	69	71	4	.493	4.5
6 楽天	62	79	3	.440	7.5

■クライマックス・パ ファーストステージ成績

対戦相手	開催地	試合結果
第1戦 vs 西武ライオンズ	西武ドーム	○ 6-5
第2戦 vs 西武ライオンズ	西武ドーム	○ 5-4

■クライマックス・パ ファイナルステージ成績

対戦相手	開催地	試合結果
第1戦 vs ソフトバンクホークス	ヤフードーム	○ 3-1
第2戦 vs ソフトバンクホークス	ヤフードーム	● 1-3
第3戦 vs ソフトバンクホークス	ヤフードーム	● 0-1
第4戦 vs ソフトバンクホークス	ヤフードーム	○ 4-2
第5戦 vs ソフトバンクホークス	ヤフードーム	○ 5-2
第6戦 vs ソフトバンクホークス	ヤフードーム	○ 7-0

■日本シリーズ成績

対戦相手	開催地	試合結果
第1戦 vs 中日ドラゴンズ	ナゴヤドーム	○ 5-2
第2戦 vs 中日ドラゴンズ	ナゴヤドーム	● 1-12
第3戦 vs 中日ドラゴンズ	千葉マリンスタジアム	○ 7-1
第4戦 vs 中日ドラゴンズ	千葉マリンスタジアム	● 3-4
第5戦 vs 中日ドラゴンズ	千葉マリンスタジアム	○ 10-4
第6戦 vs 中日ドラゴンズ	ナゴヤドーム	2-2
第7戦 vs 中日ドラゴンズ	ナゴヤドーム	○ 8-7

■千葉ロッテマリーンズ (CHIBA LOTTE MARINES)
1949年創立。毎日オリオンズ、大毎オリオンズ、東京オリオンズ、ロッテオリオンズを経て1992年に現在の千葉ロッテマリーンズとなる。ホームタウンは千葉県、ホームスタジアムは千葉マリンスタジアム。日本一4回、リーグ優勝5回。

11月7日、プロ野球日本シリーズ第7戦。中日ドラゴンズとの対戦成績3勝2敗1分けでこの試合を迎えた串間市出身の西村徳文監督率いる千葉ロッテマリーンズは、息詰まる接戦を延長戦の末8対7で制し、見事、日本一に輝きました。

プロ野球千葉ロッテマリーンズに西村徳文監督が誕生したのは、昨年10月。入団以来28年間ロッテ一筋、球団生え抜きの監督誕生でした。

スローガンに「和」を掲げたチームはシーズン終盤、驚異的な粘りでクライマックスシリーズに進出。ファースト、ファイナル両ステージともに劇的勝利で勝ち進み、日本シリーズにおいても今

シーズンのチームを象徴するような粘りの全員野球で、日本一を勝ち取りました。串間市内では西村監督の同級生が中心となり「西村徳文串間応援団」を結成。看板やのぼり旗を設置するなど西村監督とチームを応援しました。日本シリーズ第4・6・7戦は大型テレビを設置して応援会を開催。大勢の市民が選手や西村監督に声援を送りました。そして第7戦、日本一が決まると会場では喜びが爆発。バンザイの音が響き渡りました。西村監督率いる千葉ロッテマリーンズの今シーズンの快進撃、その戦い方は、この串間市にたくさんの元気と感動を与えてくれたのです。

串間市出身の西村徳文監督率いる千葉ロッテマリーンズが、日本選手権シリーズ(通称・日本シリーズ)でセントラル・リーグ代表の中日ドラゴンズを下し、見事日本一に輝きました。

今シーズンの千葉ロッテマリーンズの快進撃に、多くの串間市民がたくさん元気と感動をもらいました。